

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の2000年度の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査および整理作業は、国庫(3,900,000円)、県費(1,950,000円)の補助金の交付を受け、平成12年4月3日から平成13年3月31日まで実施した。
3. 調査組織

調査主体者 大井町教育委員会	文化財保護係長	坪田幹男
担当課 生涯学習課文化財保護係	文化財保護係・庶務	高橋偕子
教育長 遠藤正明	文化財保護係・発掘調査担当者	高崎直成・鍋島直久
教育次長 池本敏雄	大井町臨時職員・発掘調査担当者	土本医
生涯学習課長 金子忠弘		
4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。
 執筆：縄文土器 今井堯、本文・遺構 高崎直成 土器拓影：石垣ゆき子、丹治つや子、福島雅子、山口妙子
 土器・陶磁器実測：青山奈保美、石垣ゆき子、伊藤弘一、丹治つや子、福島雅子、山口妙子 石器実測：青山奈保美
 土器復元：中田藤子 トレース：青山奈保美、小林登喜江、須藤さち子、表作成：植田勢津子
 図版作成：青山奈保美、植田勢津子、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子
 遺構写真：高崎直成・土本医・坪田幹男・鍋島直久 遺物写真：高崎直成
 また、整理作業のなかで日本考古学協会の今井堯氏の援助と協力を得た。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。(敬称略)
 会田明、浅野晴樹、穴澤義功、天ヶ嶋岳、荒井幹夫、市丸靖子、上田寛、内田賢司、岡田賢治、加藤秀之、梶原勝、
 梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、駒井和久、桜井信枝、笹森健一、佐藤啓子、島田一郎、
 高橋京子、田中信、中島宏、塚田政子、原口雅樹、早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、水村孝行、柳井章宏、
 柳沢健司、和田晋治
 埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課、東久保土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会、
 (有)文化財COM
6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、本村遺跡第86地点および東台遺跡第33地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。
 〈発掘調査参加者〉(敬称略)
 新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、海老原サナエ、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、金丸文男、
 小林こずい、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、
 中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、三村美代子、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代
 (富士見市教育委員会) 飯田久子、泉邦子、上田寛、黒田千恵子、佐々木真理子、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、
 戸田美根子、中路子、名久井よし江、羽田美代子、深野サイ子、吉田信江、若槻たか、渡辺日出男
 〈整理作業参加者〉(敬称略)
 青山奈保美、石垣ゆき子、石原聡、伊藤弘一、植田勢津子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、
 中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。
 - (1) 縮尺は原則として
 遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
 土器実測図 1 : 3、1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1
 - (2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。
 - (3) 遺構図におけるscreen-toneの指示、遺物出土状況のドットの指示。
 攪乱 地山(ローム) 焼土
 土器 ● 石器 ★ 黒曜石・チャート ▲ 礫 ○
 - (4) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
 - (5) 土器・陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180度回転させて復元実測したことを示す。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。
3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

No.	遺跡・地点名	申請地	調査 面積(㎡)	開発 面積(㎡)	原因	試掘期間	調査措置
						本調査期間	
39	本村遺跡第90地点	大井・苗間93-2街区4・5画地	540	1,340	店舗	12. 8.31～12. 9.22	試掘
40	本村遺跡第91地点	大井・苗間130街区2画地	37	142	個人住宅	12. 9.25～12. 9.27	試掘
41	本村遺跡第92地点	大井・苗間129街区9画地	25	100	個人住宅	12.10.10	試掘
42	本村遺跡第93地点	大井・苗間85街区9画地	97	283	社員寮	13. 2.16～13. 2.21	試掘
43	本村遺跡第94地点	大井・苗間89街区6画地	87	192	個人住宅	13. 2.17～13. 2.19 13. 2.20～13. 3. 6	教育委員会で 本調査
44	本村遺跡第95地点	大井・苗間93-2街区10画地	41	108	個人住宅	13. 3. 6～13. 3. 9	試掘
45	東台遺跡第32地点	東台603-1	50	92	製茶工場	12. 8. 4～12. 8. 9	試掘
46	東台遺跡第33地点	東台662-1	411	7,076	分譲住宅	12. 8. 4～12. 8. 8 12. 8.10～13. 1.25	試掘後遺跡調 査会で本調査
面積合計			11,440	39,279			

第3表 2000年度大井町遺跡調査会による埋蔵文化財調査一覧表

No.	遺跡名	申請地	調査面積(㎡)	原因	調査期間
1	江川南遺跡第15地点	東久保2街区1画地	2,375	共同住宅	13. 1.10～13. 1.19
2	東久保遺跡第27地点	東久保26街区	300	調整池(区画整理)	12. 5.17～12. 6. 8
3	東久保遺跡第30地点	東久保294番2	48	下水道築造(区画整理)	12. 7. 4
4	東久保遺跡第32地点	東久保277番	632	道路築造(区画整理)	12. 7.12～12. 8. 3
5	東久保遺跡第38地点	東久保284-1,285-1	501	道路築造(区画整理)	12.12.13～12.12.15
6	東久保遺跡第40地点	東久保270-3,270-4	128	道路築造(区画整理)	13. 3.23
7	東久保南遺跡第22地点	東久保60街区1画地	2,703	中古車展示場	13. 2.14～13. 2.25
8	西ノ原遺跡第119地点	大井・苗間18街区4画地	221	倉庫建設	12.11.15～12.12. 5
9	本村遺跡第86地点	大井・苗間86街区1～5	5,745	公衆浴場	12. 5.15～12. 6.28
10	東台遺跡第33地点	東台662-1	7,076	分譲住宅	12. 8.10～13. 1.24
調査面積合計			19,729		
東久保区画整理事業に伴う発掘調査面積合計			1,609		
第2表に掲載した地点を除いた調査面積合計			18,120		

第4表 その他の立会い調査一覧表

No.	遺跡名	申請地	調査面積(㎡)	原因	処置
1	東久保遺跡	東久保31街区15画地	330	個人住宅	範囲外
2	東久保遺跡	東久保14街区14画地	130	個人住宅	盛土のため調査不可
3	東久保西遺跡	東久保12街区8画地	958	店舗	工事立会い
4	東久保遺跡	東久保15街区10・11画地	115	個人住宅	工事立会い
5	東久保遺跡	東久保31街区2画地	100	個人住宅	工事立会い
6	西ノ原遺跡	大井・苗間12街区4・5画地	94	長屋	工事立会い
7	本村遺跡	大井・苗間88街区1画地	327	砂利敷駐車場	工事立会い
8	苗間東久保遺跡	苗間587-5	134	個人住宅	57条の2
9	東久保南遺跡	東久保60街区6画地	466	砂利敷駐車場	11年度試掘済み
10	本村遺跡縁辺	大井・苗間129街区	110	個人住宅	遺跡範囲外で未調査
11	亀居遺跡縁辺	鶴ヶ岡2-27-2	1,146	共同住宅	遺跡範囲外で未調査
12	浄禅寺跡遺跡	苗間511-17	81	個人住宅	工事立会い
13	鶴ヶ岡遺跡	鶴ヶ岡3-2-1	79	下水道工事	工事立会い

XIV 本村遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

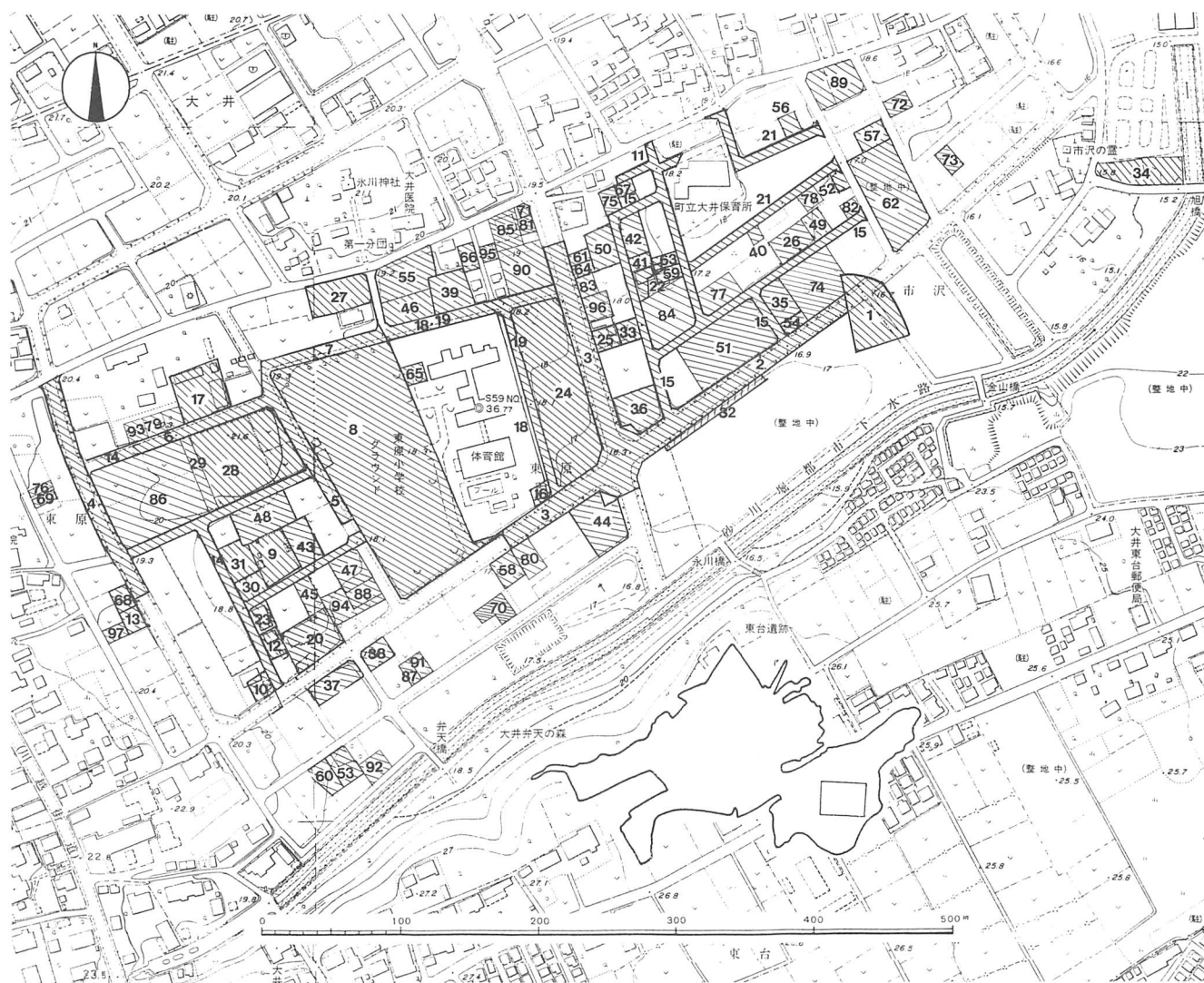
本村遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約800m、砂川堀の左岸で標高15～20mに位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。

砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみることが出来る。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川から排水機能の砂川堀と言うのが現在の状況である。町内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を忍ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大集落と奈良平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場および集落とみることができる。

いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。

2001年12月現在97ヶ所で調査し、旧石器時代の礫群、石器ブロック、縄文時代の落し穴、炉穴、中世～近世の掘建柱建物・方形堅穴状遺構・井戸・溝・柵列・地下式塋・茶毘跡等を多数検出している。



第79図 本村遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

6 本村遺跡第90地点

(1) 調査の概要

調査は店舗の建設に伴うもので、原因者より2000年8月4日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央北側に位置するため、申請者と協議の結果、遺跡の範囲確認と遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

調査は8月31日から幅約2mのトレンチ7本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。調査区の地形は北側が小高くなる緩斜面で、南側の低地は黒褐色土堆積の旧河川流域路であることが確認できた。検出した遺構のうち、溝は一部を掘り下げ、集石は周囲を人力で拡張し調査した。また、旧石器の確認のため2×2mのグリッドを13カ所設定し立川ローム第Ⅳ層まで掘り下げたが、遺物の検出は無かった。写真撮影・遺構測量等記録保存を行い、重機で埋め戻し、9月22日に調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

【集石土坑】調査区南西隅に位置し、旧河川の堆積土中から検出した。集石プランは95×95cmの範囲を中心に小さく密集する。土坑プランは楕円形、断面形態は深皿形を呈し、上端96×95cm、下端56×46cm、深さは集石部分で確認面より34cmを測る。

【溝】調査区中央で東西方向31mにわたり検出した。検出した溝はトレンチ3と7で掘り上げたが、トレンチ7では溝の底にピットを検出した。断面形態は浅い掘り鉢状を呈する。上幅は166cm、下幅20cm、深さ42cmを測る。

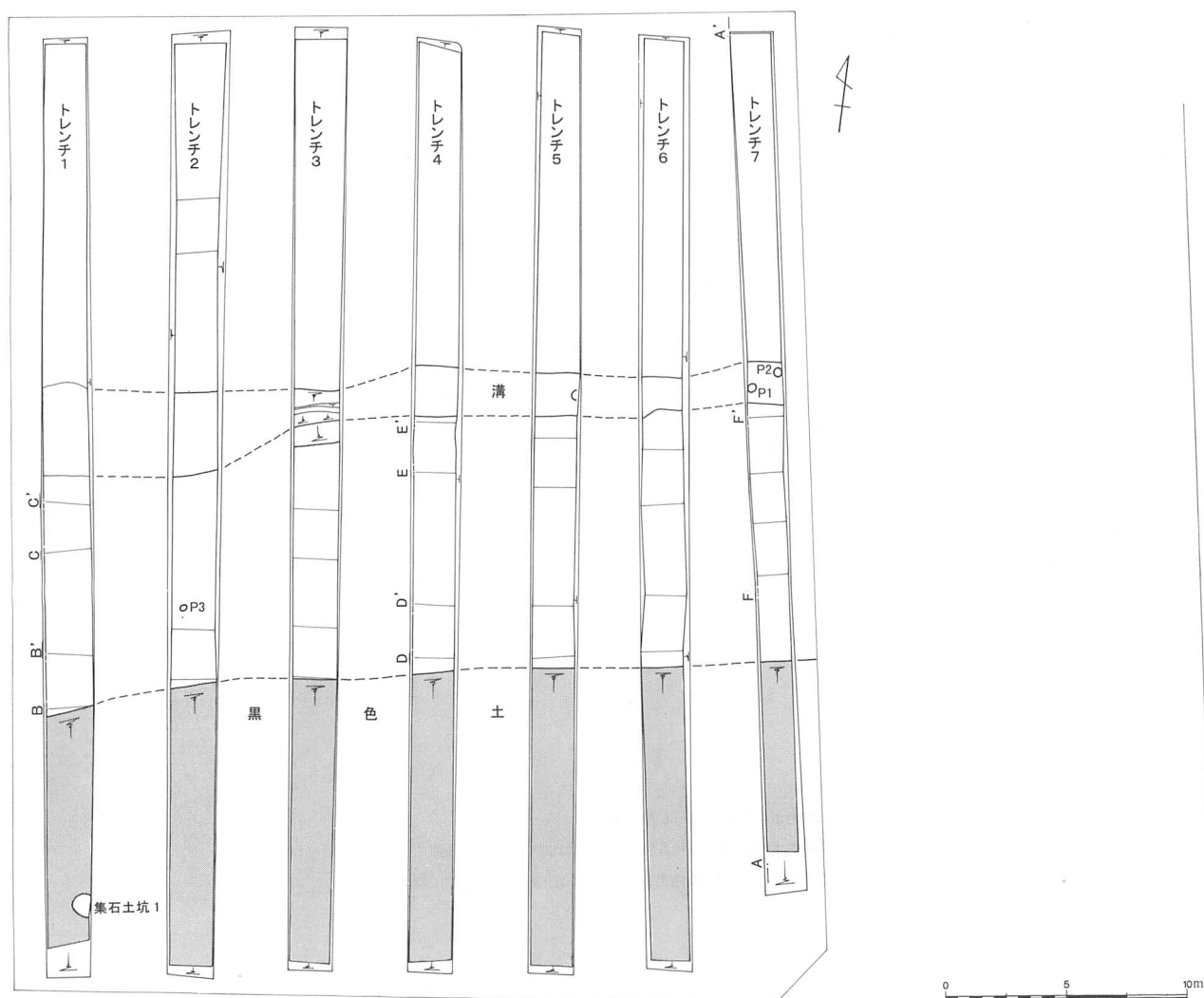
【ピット】溝の底からピットを検出した。ピットは径16～32cm、溝底からの深さ23～44cmを測る。

第20表 本村遺跡第90地点溝ピット一覧表

単位cm

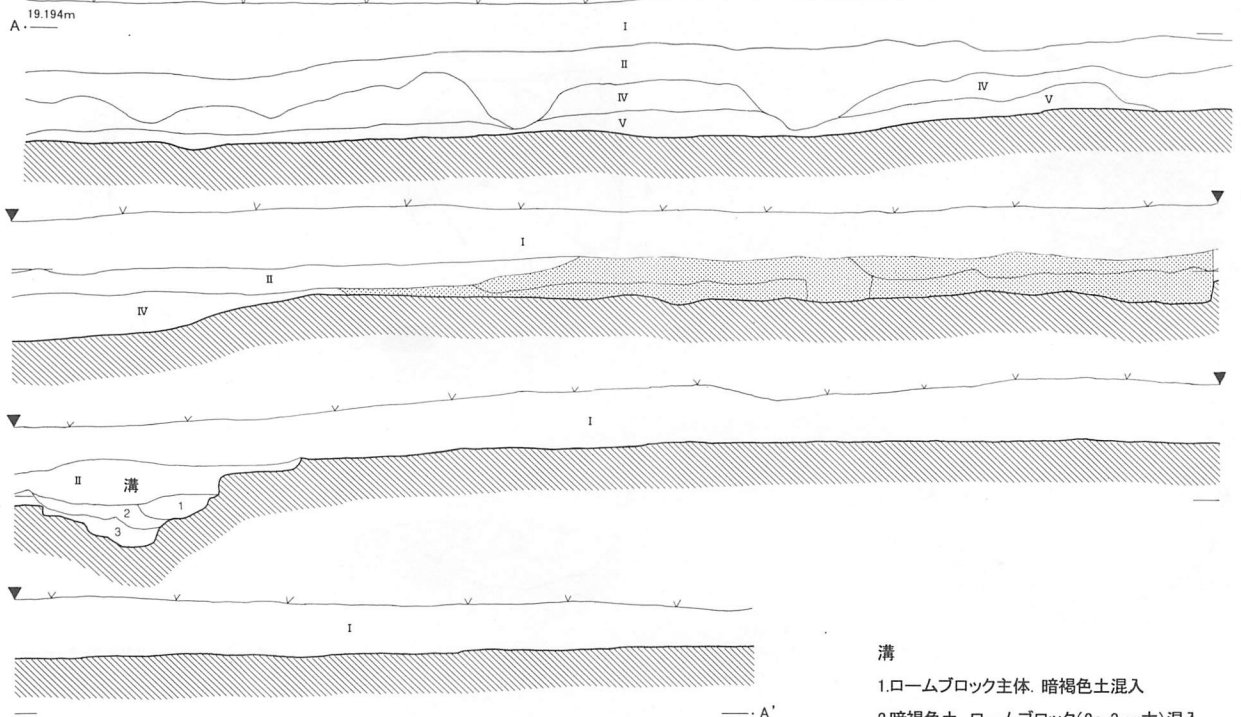
No	平面形態	確認面径	底 径	深 さ	備 考
1	楕円形	32×24	14×8	44	
2	円形	16×18	4×12	23	

【出土遺物】近世の土師質土器の火鉢底部が1点出土。



第88図 本村遺跡第90地点遺構配置図 (1/300)

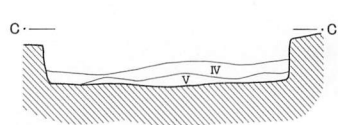
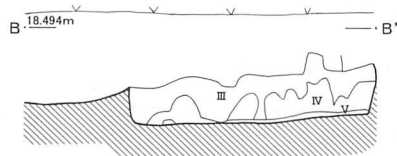
トレンチ 7



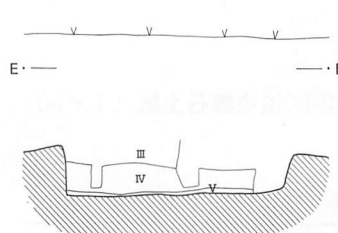
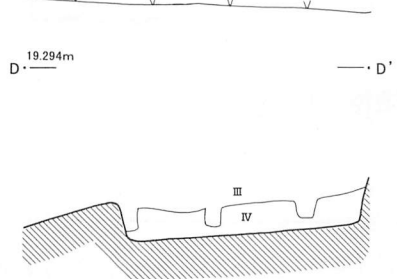
溝

1. ロームブロック主体、暗褐色土混入
2. 暗褐色土、ロームブロック(2~3 cm大)混入
3. 暗褐色土、締り有

トレンチ 1



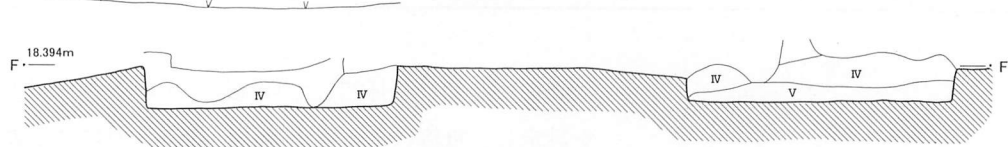
トレンチ 4



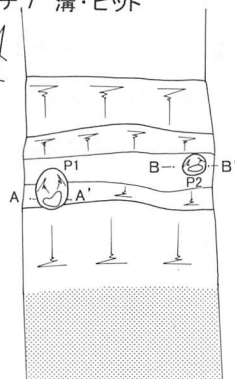
トレンチ

- I. 茶褐色土、締り無、耕作土、客土
- II. 黄褐色土、締り有、硬い、ローム主体、盛土
- III. 暗黒色土、締り無、旧耕作土
- IV. 暗黒色土、締り無、黒色土主体、茶褐色
ローム質ブロックが混ざる
- V. 茶褐色土、締り有、硬い、旧河川の堆積土

トレンチ 7

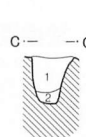
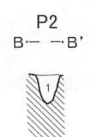


トレンチ 7 溝・ピット



溝Pit

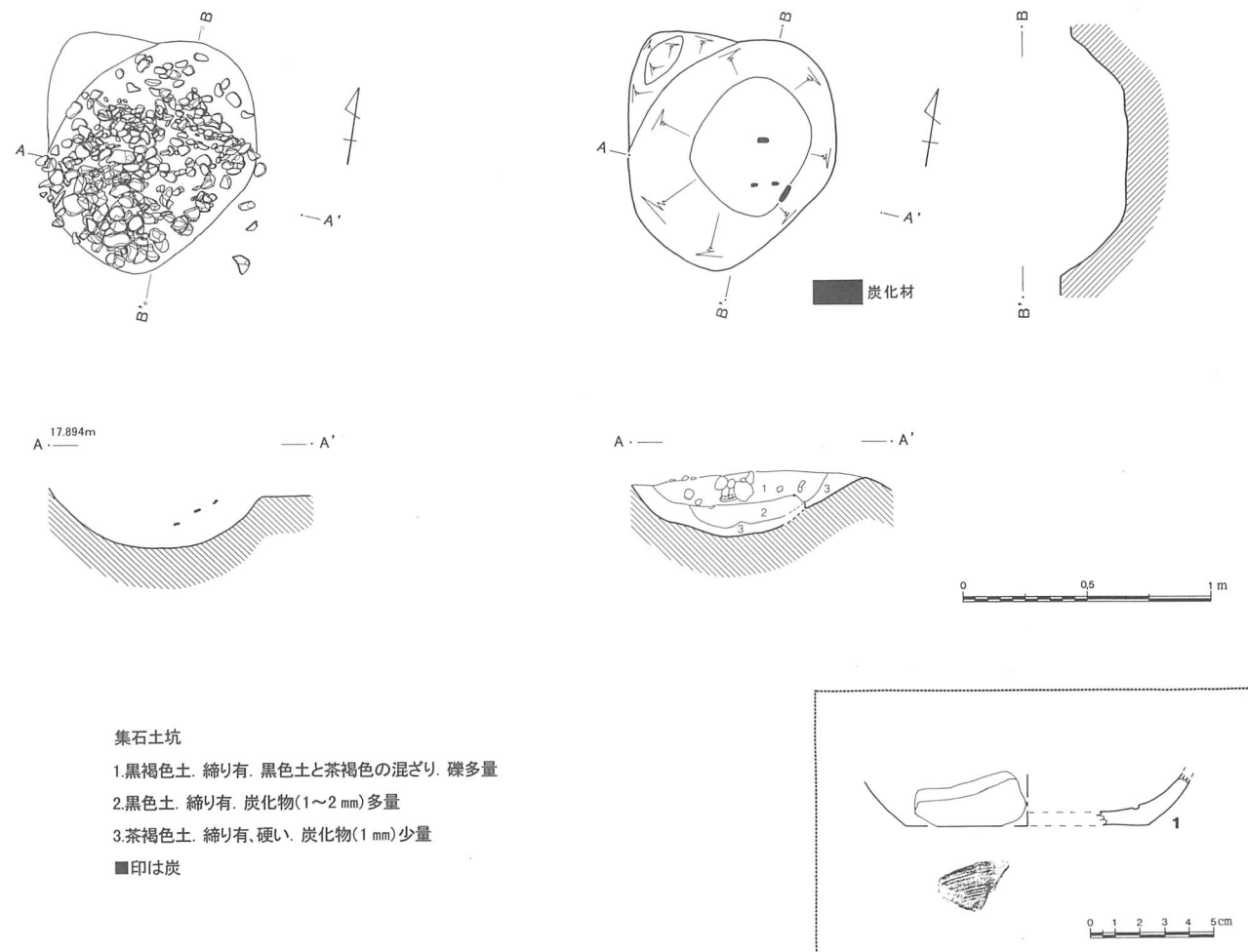
1. 黒褐色土、締り無、ロームブロック(2~3 cm)含む



Pit3

1. 黒色土、締り弱
2. 暗黄褐色土、締り無、ソフトローム崩土

第89図 本村遺跡第90地点土層・溝・ピット (1/60)



第90図 本村遺跡第90地点集石土坑（1／30）・出土遺物（1／3）

第21表 本村遺跡第90地点集石土坑観察表

集石 No.	単位cm・g・(%)														
	上端	下端	深さ	平面形	断面	礫の範囲	密度	総点数	総重量	平均重量	完形個数	破損個数	赤化個数	焼成個数	煤・タール 付着個数
1	96×95	56×46	34	楕円	深皿	95×95	密集	731	27,109	37.1	35(4.8)	696(95.2)	11(1.5)	720(98.5)	374(51.2)
															357(48.8)

7 本村遺跡第91地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2000年9月13日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の南側、砂川堀の50m北側に位置し、第87地点の東側に隣接するため申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

調査は2000年9月25日から幅約2mのトレンチ1本を設定し、重機による表土除去の後、人力による表面精査を行った結果、黒色土堆積を検出、旧河川の流域路である事が判明した。遺構はなく、表土から掘鉢が出土した。写真撮影・全測図測量等記録保存を行い、重機でトレンチを埋め戻し、9月27日調査を終了した。

(2) 出土遺物

1は掘鉢で焼き締め陶器の口縁部、19世紀の堺産。



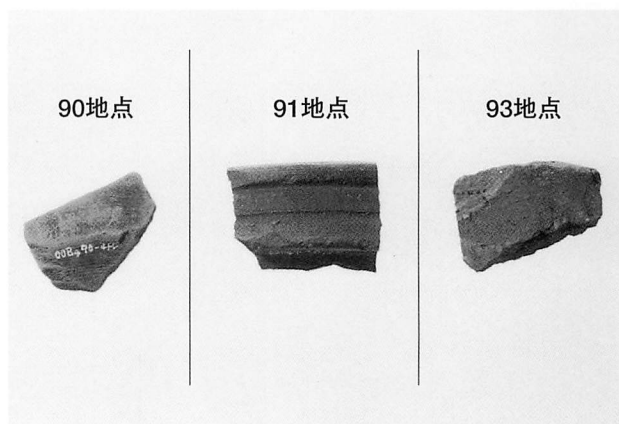
本村遺跡第90地点調査区全景



本村遺跡第90地点溝



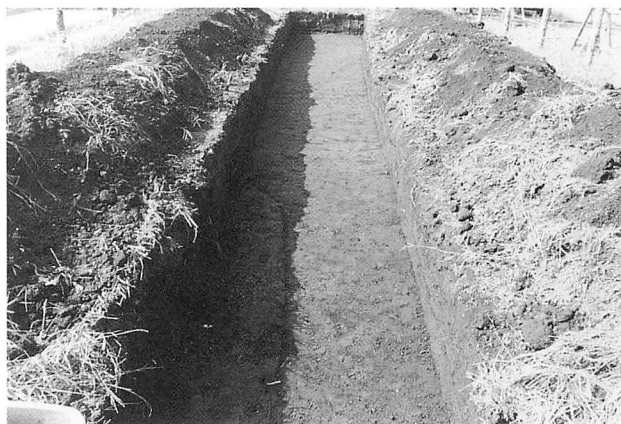
本村遺跡第90地点集石土坑



本村遺跡第90・91・93地点出土遺物



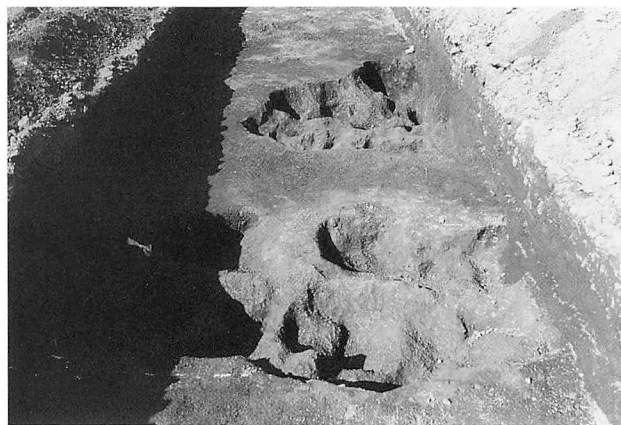
本村遺跡第91地点調査区全景



本村遺跡第92地点調査区全景



本村遺跡第93地点調査区全景



本村遺跡第93地点ピット